関西自然保護機構会報

14巻特別号

CITES' 92京都会議

目　　次

CITES' 92京都会議の意義と問題点

CITES'92京都会議が残したもの
—CITES'92参加自然保護団体の集い趣旨説明 ……村上　興正…… 1

CITESのかかえる諸問題

CITES'92の意義と今後の展望 ……小原　秀雄…… 5
CITESの現状と問題点—第8回締約国会議に出席して ……村上　興正……11
条約の運用に関する決議と今後の日本の課題 ……磯崎　博司……25
新たに提案された「付属書改正のための基準」(京都基準案) の諸問題 ……高柳　敦……31
南部アフリカ諸国の5提案—特に「野生生物取引の有益性」について— ……立澤　史郎……41
第8回ワシントン条約締約国会議：意義と位置づけ ……徳永　嗣臣……57

CITES' 92京都会議で問題とされた生物

サイと熱帯樹種 ……新田　和弘……59
動物たちのひとりごと ……中野真樹子……61
クロマグロの悲劇—商業的に重要な種をワシントン条約に含めることの意義と限界— ……角田　尚子……63
アフリカゾウ保護とワシントン条約 ……倉澤　七生・井坂由美子……71
野鳥の取引について ……臼井　俊二……75

CITES' 92とNGOの関係

CITES'92市民連絡会の記録—関西NGOsはホストたりえたか？— ……立澤　史郎……77
環境NGOのCITESオブザーバー参加に関わる経緯と問題点 ……立澤　史郎……87
民間団体の国際会議での役割 ……臼井　俊二……97
CITES'92参加自然保護団体の集い政府機関とNGOの関係……船橋　直子……99

総合討論

CITES'92京都会議が残したものシンポジウム討論の記録 …… 101
特集を終えるにあたって ……布谷　知夫…… 111

1992年12月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。